

令和元年生駒市教育委員会第12回定例会会議録

1 日 時 令和元年12月23日(月) 午後時1時30分～午後3時8分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

- (1) 報告第22号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和元年生駒市議会第6回（12月）定例会提出議案の意見について）
- (2) 報告第23号 臨時代理につき承認を求めることについて（生駒市社会教育委員の委嘱について）
- (3) 報告第24号 令和元年生駒市議会第6回（12月）定例会提出議案の結果について
- (4) 報告第23号 教職員人事異動方針について
- (5) 議案第32号 幼稚園教諭・保育士人事異動方針について
- (6) 議案第33号 生駒市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について
- (7) 議案第34号 生駒市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について

4 教育委員会出席者

教育長	中 田 好 昭		
委 員	寺 田 詩 子	委 員	神 澤 創
委 員	浦 林 直 子	委 員	坪 井 美 佐
委 員	レイノルズあい	委 員	西 井 久 之

5 教育委員会欠席者

委 員（教育長職務代理者）飯 島 敏 文

6 事務局職員出席者

教育振興部長	真 銅 宏	生涯学習部長	八 重 史 子
教育振興部次長	坂 谷 操	教育総務課長	辻 中 伸 弘
教育指導課長	城 野 聖 一	学校給食センター所長	植 島 秀 史
こども課長	(教育振興部次長兼務)	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	新 土 和 美	子育て支援総合センター所長	辻 本 多 佳 子
生涯学習課長	梅 谷 信 行	図書館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	山 本 英 樹
教育指導課課長補佐	前 田 伸 行	こども課課長補佐	松 田 悟
教育総務課（書記）	牧 井 望	教育総務課（書記）	鬼 頭 永 実

7 傍聴者 1名

午後1時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

- ・生駒市学校教育のあり方検討委員会の答申案に係るパブリックコメントの実施について、坂谷教育振興部次長、辻中教育総務課長から説明

<参照：資料1-1・2、資料2-1・2>

- ・第2期生駒市子ども・子育て支援事業計画（案）に係るパブリックコメントの実施について、坂谷教育振興部次長から説明

<参照：資料3-1・2>

○日程第3 報告第22号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和元年生駒市議会第6回（12月）定例会提出議案の意見について）

- ・令和元年生駒市議会第6回（12月）定例会提出議案の意見について、坂谷教育振興部次長から説明

<参照：議案書p1>

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 報告第23号 臨時代理につき承認を求めることについて（生駒市社会教育委員の委嘱について）

- ・生駒市社会教育委員の委嘱について、梅谷生涯学習課長から説明

<参照：議案書p4、資料4>

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 報告第24号 令和元年生駒市議会第6回（12月）定例会提出議案の結果について

- ・令和元年生駒市議会第6回（12月）定例会提出議案の結果について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書p5>

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第6 報告第25号 教職員人事異動方針について

・教職員人事異動方針について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書p6>

(質疑)

西井委員：議案書10ページの重点項目において、初回異動は県内全域の他市町村への異動とされている。しかし、実際に奈良市では、北・中・西地域に分けて地域間での異動であれば、初回でも奈良市内での異動も可能となっており、都合よく動かせるようになっている。その状態では市町村間で不公平感があるので、機会があれば、県に上申していただきたい。

寺田委員：女性管理職は16%と、やや増えているが、未だに少ない。令和2年度の見込みはどうか。女性の校長先生も熱心な方が多く、現場の40～50代の先生方にはどのように映っているのかが気になる。

中田教育長：見込みとしては、来年度中学校の女性管理職が1名退職となり、再来年度、小学校の女性管理職も退職者がおり、毎年1名程度退職者が出る。管理職試験の受験者自体は、男性より女性が多い。それでも比率が低い状況ではあるが、今後増加すると予測している。ただ、来年度の人事は構想中のため、今の段階では固まっていない。

イノベ委員：来年度小学校で51名、中学校で29名児童生徒数が減少となる見込みとのことだが、そのことに伴って、今後教職員数も減少する可能性もあるのではないかと懸念がある。現在でも忙しいのに、今後教職員数が減り、更に現場が厳しくなる懸念がある。県からは適正な配置をされていると思うが、減少が著しい学校には、スクール・サポート・スタッフを配置する等、市の裁量で配置できる部分を、積極的に登用していただきたい。

中田教育長：来年度の定数は分かるか。

辻中課長：教職員数は学級数によって異なる。現段階では中学校92クラスから89クラス、小学校は225クラスから205クラスと、大きな減となる見込みであり、その分教職員もかなり減少すると考えられる。少人数加配についても、県の基準は12月末に公表される予定なので、はっきりしたことは言えないが、去年と同様であれば、標準の数に加えてクラス数分の減となる。小学校でのクラス数が激減するので、現場への影響は免れないだろう。

中田教育長：教職員数が激減する学校はないか。特に中学校では、教科担任制なので、教科担任の数が足りなくなる可能性がある。その際、市費で講師を追加配置することになる。

辻中課長：予定としては、最大2人減の学校がある。少人数加配が今年度どおりと考えると、それ以上の激減はない。

中田教育長：極端な減少はないようだ。年によっては、40人学級制であるため、41人で2クラスとなる場合もあれば、40人では1クラスとなる場合もあるので、際どいところで人数が減ることもある。また、教科担任については、1人で複数校を兼任する場合もあり、最終的な判断を待たなくては、分からない人事もある。ただ、辻中課長からあったように、最大2人減であれば、学校運営上問題ない程度かと思う。

神澤委員：特別支援学級について、以前、生駒市では児童生徒6人で1学級だったものが、児童生徒8人で1学級になったが、その点は見直されていないままか。

辻中課長：自閉情緒について、以前は6名に1学級だったものが、8名に1学級に改められた。ただ、8名とすることにより余剰となった先生方を、他の人手が足りていない学校へ配置するための措置であり、県としては、特別支援学校相当の児童生徒がいる学校へ再分配する形で対応している。

神澤委員：先生方の配置について、特別支援の経歴等を考慮した上で配置があるのか。

辻中課長：どの先生が特別支援担当にするかは学校によって異なる。特に特別支援の勉強をされている先生をあてる場合と、そうでない場合とがある。

神澤委員：専門性がある先生の数も、年度によってばらつきがある。特別支援について関心が高まってきているが、当市では専門性がある方を配置できるようにする等の方向性はないのか。

辻中課長：大学等で特別支援の勉強をしている先生もいるが、その方々はことばの教室での指導のために勉強されている方が多い。その他については、専門的な知識を持っていない先生も配置されていると認識している。

神澤委員：当市が特別支援について特殊な状況ではないことは把握しているが、だからこそ手厚くしていただきたい。そのことで、子ども達もより楽しく学べる環境になるはずだ。

中田教育長：近年発達障害等、かなり増加傾向にある。現段階での数は分かるか。

城野課長：就学指導委員会で取り扱っているもので、今年の段階で110名挙がっている。昨年は90名程度なので、20名ほど増えている。

中田教育長：毎年、10～20名増えている。市長に対しては、特別支援に特化している先生の配置を依頼しているところだ。種別によっては、一対一での対応をしなくてはならないケースもあるので、マンパワーが不足するので、極力予算化している。

神澤委員：生駒小学校のことばの教室も満員で、いくつかの学校から子ども達が通っている状況だ。就学指導委員会も当初私が関わっていた時期は50～60名程度だったが、倍近い数になっている。今後より良い教育を提供していくという観点から、取組を進めていただきたい。

城野課長：来年度に向けて、光明中学校内に中学校版の通級教室、ことばの教室の設置を県に要請している。2月に結果が出る予定だ。

神澤委員：鹿ノ台中学校では、通級指導教室ではなかったが、熱心な特別支援教育をされていたと思う。小学校ではことばの教室に通っていても、中学生になると特別支援教育しかないので、居場所がなくなる子どもがいて聞いている。市の教育委員会として何ができるのか考え続けていけば、子ども達が楽しく勉強できる環境を作れると思う。

西井委員：先ほど城野課長からあったように、光明中学校内に中学校版の通級教室を作ろうとする動きがあるようだが、県内でそのような取組は他にあるのか。

城野課長：県内ではかなり増えている。市で設置していないのは、県内でも数える程度である。

西井委員：その状況なら、人事担当と連携しながら、県に要請を続けていただきたい。支援施設に分室があり、そちらにも人的措置を依頼していたが、県費では付かず、市の負担で措置している状況が続いている。当市の現状は、小学校には特に手厚くなっているが、中学校まで網羅できていないと思う。中学校版の通級指導教室の案が出ていることも喜ばしく、引き続き県に対し措置を申請していただきたい。

神澤委員：当市の適応指導教室との関係を伺いたい。

西井委員：適応指導教室は不登校への支援であり、通級指導とは別だ。

神澤委員：不登校の子の中には障がいを抱えている子が多いのではないか。県内で中学校版の通級指導教室を設置する理由は、主にその点ではないか。

西井委員：障がいを抱えている場合もあるが、そうではない場合もある。また、従来、発達障害は、小学校低学年に如実に表れ、徐々に好転していく傾向があった。しかし近年、神澤委員からあったように、中学校でも周囲の子どもと上手くコミュニケーションを取れない子が増え、通級指導が必要となっている。県内で増えているので、当市でも同じく対応が必要だろう。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第7 報告第26号 令和2年成人式の開催について

・令和2年成人式の開催について、梅谷生涯学習課長から説明

＜参照：議案書p11＞

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第8 議案第32号 幼稚園教諭・保育士人事異動方針について

・幼稚園教諭・保育士人事異動方針について、坂谷教育振興部次長から説明

<参照：議案書p13>

(質疑)

寺田委員：今まで議案に挙げていなかったもので、議案になって嬉しい。今後人事交流を活発に行うということだが、今後数年で幼稚園において経験のある先生方の多くが定年退職を迎える。その分保育園から経験のある方にも入っていただくものかと思う。講師の先生方も力のある方が多く、勤務年数で退職時期を決定するような取扱いは極力避け、大切に扱っていく方法を考えていただきたい。また、突然人事交流をしても、指導する側も直ちに対応することも難しい部分もあるので、幼稚園にも経験のある先生方を少しでも残していただくように、お願いしたい。

坂谷次長：来年度から講師の取扱いが会計年度任用職員という制度に変わり、フルタイムの講師については、待遇が改善される。今後も継続して働きやすい環境づくりを続けたい。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第9 議案第33号 生駒市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について

・生駒市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書p15、資料5>

(質疑)

イリス委員：部の名称変更に伴って、役割に変更はあるのか。

真銅部長：学校教育のあり方検討委員会でも検討しているとおり、今後ますます保育を含めた子ども達への教育が重視される。その点を明確にするとともに、子育てに関する事務の所管が分かりやすいようにという市民への配慮もあると考えている。

中田教育長：教育改革を進めていくに当たっては、学習指導要領の改訂に伴い、転換期を迎えていると思う。「こども」という名称が入ることにより、より一層教育委員会の充実を図っていききたいと感じている。

審議結果【原案のとおり可決】

○日程第10 議案第34号 生駒市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について

- ・生駒市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について、植島学校給食センター所長から説明

＜参照：議案書 p 17、資料 6～8＞

(質疑)

坪井委員：8月に給食回数が3回加わるとのことだが、9月の学期始めで給食が無かった分は給食を実施するのか。

植島所長：従来9月3日から給食開始となっていたが、夏期休暇短縮に伴い、9月1日、2日も給食を実施する予定だ。

西井委員：資料7に県下の給食費の状況があるが、平群町や四条畷市の金額も分かるか。

イノベ委員：平群町が小学校4, 100円、中学校4, 350円で、四条畷市は今年度から小学校4, 400円、中学校4, 800円のような。

植島所長：平群町からは、来年度から300円増額するという情報を受けており、来年度は当市と同額となる。

西井委員：保護者の意見でもやむを得ないと考える方も多いが、一定数反対する方もおられる。保護者は、ナッツ等のおやつ的な副食が増えたり、納豆の容器が変わることを望んでいるわけではなく、原料にこだわった献立になることを望んでいると思う。センター方式なので、出来ないこともあると思うが、給食の中身が良くなったと言われるように工夫していただきたい。平群町は釜で炊いたご飯が配膳されたり、斑鳩町は自校方式なので温かい給食が食べられる等、市町村によって様々な工夫をされている。当市でも、この増額によって、献立の充実を図り、単に付いてくるものが豪華になるような、安易なものではないようお願いしたい。

植島所長：資料8のアンケート⑫において、給食費の改訂分はどの点に充ててほしいか伺っており、その回答内容と、西井委員から頂いた意見を参考にし、給食の献立の充実を図っていききたい。

中田教育長：見せ方も重要だと思う。給食が良くなったかを子どもに聞くのも、それぞれの好みもあり、限界がある。献立表を公表する際、特に力を入れた献立、こだわった原材料などを明示し、献立が充実していることをアピールするように、工夫をお願いしたい。

審議結果【原案のとおり可決】

○日程第11 その他

- ・1月行事予定について、辻中教育総務課長、梅谷生涯学習課長から説明
(質疑) なし

- ・教育委員の退任について、中田教育長から説明

◀ 浦林委員 挨拶 ▶

◀ 中田教育長 挨拶 ▶

◀ 暫時休憩 ▶

・令和元年における教諭の事故案件について、城野教育指導課長から説明

◀ 個人情報を含むため、非公開 ▶

○閉会宣告

午後3時8分 閉会